

## 第10回オークワカップ WTV少年サッカー大会 兼

### 第40回和歌山県少年サッカー選手権 和歌山県大会 実施要項

1. 主 催 (一社)和歌山県サッカー協会
2. 後 援 (株) テレビ和歌山
3. 特別協賛 (株) オークワ
3. 日 時 2016年6月11日(土)・12日(日)
4. 会 場 紀三井寺陸上競技場(天然芝)
5. 参加資格 1) 2016年度(公財)日本サッカー協会四種に加盟登録したチームであること。  
2) 本大会中に同一選手が異なる「加盟チーム」に移籍後、再び参加はできない。  
3) 参加申し込みを6月4日(土)までに、WEB申込みを済ませたチーム。  
4) 参加資格に違反した場合は、そのチームの出場を認めない。その場合は対戦相手の不戦勝とする。
6. チーム構成 1) 選手16名以内、引率者指導者は、参加申し込み時の登録5名の内3名以内がベンチ入り出来る。
7. 参加条件 1) 参加チームは必ずスポーツ障害保険に加入していること。  
2) 参加費 5,000円。
8. 競技方法 1) 8人制サッカー大会  
2) 各ブロック代表2チームの16チームでトーナメント方式で、順位を決める。  
3) 試合時間は40分(20分-5分-20分)。  
規定の競技時間内に勝敗が決しない場合は、3人制によるPK戦で決める。  
決勝戦のみ、10分間の(5分-5分)延長戦を行う。
9. 表彰 1) 優勝チームにはトロフィー、賞状、2位、3位、4位チームには盾と賞状を授与する
10. 競技規定 1) 2016年度(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」に準ずる。  
2) 使用球は4号検定球で主催者が準備する。  
3) 交代要員8名とし、8名までの自由な交代制を適用する。  
4) ベンチに入ることが出来る人数は11名(交代8名・登録指導者3名以内)  
5) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が日本サッカー協会公認コーチ資格(D級以上)を有しベンチ入りする事  
また、指導者ライセンス証を提示する事  
6) 交代で退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出て、交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる。交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中に関わらず行う事が出来る。  
GKの交代は、アウトオブプレー中に、主審に申し入れる。  
7) 審判は3人審判とする。(審判の判定に対しての異議申し立ては受け入れない)  
8) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される引率者の数は2名以内とする。  
9) 本大会に参加する選手は(公財)日本サッカー協会の発行した選手登録証(写真を貼付したもの)または電子登録証の写し(写真が登録されたもの)をコピーし持参すること。選手証または、電子登録証が確認出来ない場合は、試合に出場できない。

- 10) ユニフォームは参加申込にて登録したユニホームを着用すること。  
チームは試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。  
尚ユニフォームの広告表示は認めない。
- 11) 競技フィールドは、縦(68m)、横(50m)、ペナルティエリア(12m)  
ペナルティーマーク(8m)、センターサークル(半径7m)、ゴール  
エリア(4m)、ゴールは、少年用(幅5m、高さ2.15m)
- 12) ユニホームは、正・副同色でないユニホームを各1組ずつ持参する事
- 13) 競技者が退場を命じられ場合は、そのチームの交代要員の中から  
競技者を補充することが出来る。補充している間は、試合を停止する。
- 14) 大会期間中警告を2回受けた者は次の1試合に出場出来ない。
- 15) 退場を命じられた競技者は、次の1試合に出場出来ない。それ以降の処置については  
本大会規律委員会(和歌山県サッカー協会4種委員会)で決定する。  
※4種規律委員会とは(委員長、副委員長、審判委員長、4種参与)

## 11. その他

- 1) 大会期間中の負傷等については、応急手当はいたしますが、以後の責任は負わない。
- 2) メンバー表の提出は、試合時間の20分前までに大会本部に提出する。
- 3) 選手証及び爪のチェックは受付終了後、チーム単位で行う。
- 4) ゴミ類は、各チームで、必ず持ち帰って下さい。
- 5) 副審について、ユース審判で行う。2日目の決勝戦のみ審判部で行う。
- 6) 今大会の上位4チームは、日本ハムカップ関西少年サッカー大会に出場できる権利を与える。  
(関西大会は、9月上旬予定、会場:Jグリーン堺)
- 7) 大会中の気象変動時は、試合開始時間の変更もある。警報等の発令時は、4種委員会  
各委員で検討し、最終4種委員長が決定する。
- 8) 熱中症対策について
  - ①大会期間中、気温上昇により熱中症対策が必要な場合は大会運営と4種委員長が相談して  
熱中症対策を講じる事の判断をして、審判に伝える。
  - ②大会/試合中の規制(当日の対応) 会場にWBGT計を準備し、計測する。  
WBGT=25℃以上の場合、4種の試合は『熱中症対策』を講じる。  
試合中の飲水タイムを取るまた、熱さ指数が上昇する場合は、クールブレイクを実施する  
[Cooling Break/クールブレイク]  
前後半1回ずつ、それぞれの半分の時間が経過した頃に3分間の[Cooling Break]を設定し、  
選手と審判員は以下の行動をとる。
    - ① 日影にあるベンチに入り、休む。
    - ② 氷・アイスパック等でカラダ(頸部・脇下・鼠径部)を冷やし、必要に応じて着替えをする。
    - ③ 水だけでなくスポーツドリンク等を飲む。
- 9) 不測の事態(悪天候や災害等)が起こった場合、大会運営担当と協議の上大会責任者  
(和歌山県サッカー協会4種委員長)の判断のもと不測の事態に対応する。